

平成29年(2017) 2月23日～27日

平成28年度(2016)

第4回出雲市議会(定例会)  
一般質問通告一覧表

平成28年度(2016)第4回出雲市議会(定例会)  
 一般質問通告一覧表 目次

2月23日(木) 10:00 開会			2月24日(金) 10:00 開会			2月27日(月) 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	保科孝充	3	1	山代裕始	10	1	大場利信	16
2	伊藤繁満	4	2	原正雄	11	2	珍部全吾	17
3	米山広志	5	3	福島孝雄	12	3	井原優	18 ～ 19
4	板垣成二	6	4	勝部順子	13	4	神門至	20 ～ 21
5	岸道三	7	5	板倉一郎	14	5	萬代輝正	22
6	川上幸博	8	6	小村吉一	15	6	多々納剛人	23
7	湯浅啓史	9						

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 乳幼児等医療費助成制度について伺う。				
<p>① 島根県内各市では乳幼児等医療費助成制度が充実されつつあります。若い方々の所得の減少が進む中の支援策として出雲市としても十分に対応すべきと思います。</p> <p>ア 島根県内8市の状況を伺う。</p> <p>イ 市として今後の支援策の充実をどう考えているか。</p>			子ども未来 部長	
(2) 平成30年産からの米・生産調整見直し制度を聞く				
<p>① 平成30年産からの米の生産調整の見直しが決定しています。農家の皆さんの大きな不安にどう答えますか。</p> <p>ア 地域農業再生協議会について</p> <p>a 島根県農業再生協議会が作成する新制度の公表はいつごろか。</p> <p>b 出雲市における推進体制はどのように考えているか。</p> <p>イ 平成30年から廃止される直接支払い交付金について</p> <p>a 平成28年度交付金の総額と見直し後の財源の行方はどうか。</p> <p>b 出雲市独自の対策を考える必要はないか。</p> <p>c 結果的に水田の荒廃が進むと考えられるが、どうか。</p>			農林水産 部長	
(3) どうしても疑問と納得がいかない都市計画道路見直しを聞く				
<p>① 先般、都市計画審議会が開催され都市計画道路の見直しが決定しました。審議会の議事内容について伺います。</p> <p>ア 審議会の議事内容と、見直し決定に向けての現地調査は行われたのか。</p> <p>イ 斐川地域のほとんどの住民が疑問を持っている今回の計画見直しについて、どのような見解と今後の対策について伺う。</p>			都市計画 担当部長	

質問者	1 1 伊 藤 繁 満		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 雪害状況及び除雪に関する危機管理のあり方について伺います			
<p>① 本年の大雪により農業用施設をはじめ農作物等の被害状況及びその後の復旧状況と支援策について伺う</p> <p>② 1月23日(月)朝から出雲市東部地域を中心に降雪に見舞われスリップ事故等により車両の渋滞が発生し通勤、通学等道路走行に大きな影響がありました。大雪注意報、警報が発令され23日(月)から翌日にかけて一段と降り積もり24日(火)は前日よりさらに交通機関に大きな影響が出ました。危機管理体制を含め以下の項目について伺います。</p> <p>ア 出雲地域、平田地域、佐田地域、多伎地域、湖陵地域大社地域、斐川地域の積雪深はばらつきがあると推定されるが各地域の最大深と除雪開始時刻 除雪機械保有台数(市所有と民間所有を地域別)</p> <p>イ 除雪対象積雪深を15cm程度としている場所と確認方法</p> <p>ウ 大雪警報が発令された場合の職員の対応</p> <p>エ 公共事業減少と建設事業者減少及び運転手の高齢化による技術者不足は除雪体制のあり方を再検討すべきところまで来ているのではないかと考えるが課題は何か</p> <p>オ 除雪作業に関し、平野部で組織されている集落営農組織や大型農家、酪農家等の方に協力していただき除雪作業に関する応援協定を結ぶことを検討したらどうか</p> <p>カ 委託業者で所有されている除雪車の助成制度充実と除雪機械の台数減により起動力が低下している現状の改善策及び市所有の除雪車確保について</p>		市長	

質問者	27	米山広志	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 障がい者差別解消法について		市長	
① 平成28年4月1日から「障がい者差別解消法」がスタートしました。 ア 障がい者雇用促進法にもとづいての出雲市の雇用実態 イ 出雲市内の公共施設での障がいのある方の無料化の実態 ウ 障がい者のスポーツ振興対策は			
(2) 支所機能・コミュニティセンターの機能のあり方		市長	
① 住民票などの証明書請求を本庁、支所以外での交付手続を検討されているのか ② 県内の公民館、郵便局、コンビニなどの通常窓口以外の交付状況 ③ 今後の支所のあり方（縮小、統廃合）			
(3) 幼児教育の充実		市長	
① 過去5年間の幼稚園入園率及び充足率（3～5才児） ② 幼児教育の理念は ③ 幼稚園教育の充実について			

質問者	14 板垣成二	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 小・中学校、支所、コミセン等へ小型除雪機導入を		
<p>① 年末年始の暖冬から一変し、1月下旬から思わぬ雪に見舞われた。幸い出雲市で大きな被害が出たとの報告はなかったが、除雪体制の脆弱さが露呈した。除雪機械やオペレーターの不足により、除雪要望に応えきれなかったというのが実態であったと思われる。</p> <p>そのようななか、小・中学校では、学校周辺の通学路確保、学校給食車の進入路確保、駐車場確保のための除雪、支所やコミセンでは通常業務のほかに、駐車場の除雪等、大変な苦勞をされている現状を目の当たりにした。</p> <p>気象庁は、温暖化により降雪量は減っても、ゲリラ豪雨のように、降れば大雪となる、いわばゲリラ豪雪に警戒する必要があると発表している。今後とも、今回以上の大雪に見舞われる可能性があり、小・中学校や支所・コミセンなどの公共施設や、公共的施設の雪対応の体制を強化する必要がある。</p> <p>実態を調査し、優先順序も考慮し、小型除雪機導入等の対応が必要と考えるが、見解を伺う。</p>		市長
(2) 文化施設利用料金改定に係る評価並びに今後の方針について		
<p>① 平成27年10月に、文化施設等の料金が改定された。1年以上経過し、その成果や課題を評価し、今後の方針に反映させる必要があると考える。そこで、</p> <p>ア 利用料収入、利用者数の推移は。</p> <p>イ 利用料収入、利用者数の推移についてどのように評価しているのか。</p> <p>ウ 昨年4月に設立された出雲市文化団体連合会からは料金改定に関する種々の要望が提出された経緯がある。また料金改定によって地域活性化を目的としたイベント等の開催維持が危ぶまれるという声も聞いている。これらのことも踏まえ、今後どのような考え方、方針で臨むのか。</p> <p>以上、市長の見解を伺う。</p>		市長

質問者	2	岸 道 三	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 大規模火災への備えについて		市長	
① 指定されている密集地区の延焼面積率と現状 ② 消防力の現状と課題 ③ 防火意識向上のための取り組みと課題			
(2) 「出雲コーチン」「大社御縁鱒」のブランド化への支援について			
① 「出雲コーチン」の将来的なブランド化への期待 ② 「出雲コーチン」の利用促進に向けた出雲市としての関わり方 ③ 「大社御縁鱒」の現状と課題 ④ 「大社御縁鱒」の認知度を高めるための支援策		市長	

質問者	22	川上幸博	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 福祉職場（介護・保育）の人材確保策について		市長	
① 福祉職場（介護・保育）の人材不足の現状 ② 福祉職場を希望する若者が減少した理由はなぜか ③ 特に介護分野では、出雲市介護人材確保プロジェクト会議を立ち上げ対策が行われているが今後の対応はどのようにするのか。また、保育分野での対応策は ④ 福祉職場人材確保策として賃金改善策もあるが行政（国、県、市）の対応策			
(2) 社会教育（生涯学習）の現状と今後の取り組みを伺う		市民文化 部長	
① 出雲市における社会教育とは ② 地域活性化における社会教育の役割は			



質問者	3 湯 淺 啓 史		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 中心市街地の活性化策はどう進められるのか			
<p>① 少子高齢化の進展や都市機能の郊外移転により、中心市街地における商機能の衰退や空き店舗、空き家、未利用地が増加している。このような状況の中「コンパクトシティの実現」に向け、中心市街地活性化を図ることは国の方針の一つとなっている。</p> <p>ア なぜコンパクトなまちを形成しなければならないのか</p> <p>イ 中心市街地を活性化させる意義は何か</p> <p>ウ コンパクトなまちの核となる中心市街地は、出雲市においてどこなのか</p> <p>エ 「特定民間中心市街地経済活力向上事業計画」認定へ向けた取り組みなどを含め、出雲市の中心市街地活性化策は、今後どう進める考えか</p>		市長	

質問者	28 山代裕始		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事	
(1) 旧出雲市役所跡地の利活用について		市長		
① 旧庁舎跡地の利活用について、どういう検討をしてきたのか、売却も含めて今後の利活用の考え方は ② 公用車の数は適正か ③ 新たな駐車場として市役所南側の駐車場はどうか				
(2) 効率的な行政運営と各種証明等発行窓口の開設		市長		
① コミセンでの窓口の開設 ② コンビニ交付について ア コンビニ交付のメリットとデメリット イ 県内・全国におけるコンビニ交付の取組状況 ウ 本市におけるコンビニ交付の取組予定と課題について				
(3) 友好交流都市について		市長		
① 現在の友好交流都市について ② 市民に周知されているのか ③ 市民は交流に参加しているのか ④ 今後の交流のあり方について				

質問者	8	原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 神戸川再生について		市長	
<p>① 神戸川分水廃止を求めている神戸川再生推進会議と出雲市との進捗状況について伺います。</p> <p>② 膠着状況解消にむけて地元県議会議員の調整の確認書(案)と神戸川再生推進会議との状況について伺う。</p> <p>③ いずれにしても出雲市当局が大変な重責を受け持つ立場となり、特設リンク(仮称 神戸川復興課)の設置が必要と考えますがどうか。</p>			
(2) 学校図書館活用事業について			
<p>① 平成29年度の出雲市の取り組み状況を伺う。</p> <p>② 松江市は全校配置(小、中)と聞いています。出雲市は37小学校中10校、中学校14校中0校と聞いているが、教員を補佐する重要な立場と考えるが、どのように対応して行くつもりなのかを伺う。</p>		教育長	

質問者	7 福島孝雄		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 出雲市の人口減少地域の対策について				
<p>① 出雲市内周辺地域の人口減少に対する取り組み状況を伺う</p> <p>② (特に減少が著しい地域) 上津・乙立・北浜・佐香・須佐・窪田・日御碕・鶺鴒の対策を伺う。</p> <p>③ 人口減少に対する、各支所の役割を伺う。</p> <p>ア 自治協会、コミセン、地域住民等からの意見・要望の取り扱い。</p> <p>イ 支所での課題認識及び、職員からの提案はあるのか。</p> <p>④ 「まち・ひと・しごと総合戦略」として、人口減少地域の今後の具体策を伺う。</p>		市長		
(2) 斐川地域の交通渋滞対策について				
<p>① 現在の斐川町内の誘致企業に関する交通渋滞状況を伺う</p> <p>ア 誘致企業への町内の通勤者数、町外(市内)からの通勤者数、市外からの通勤者数。</p> <p>イ 渋滞する時間帯。</p> <p>② 出雲斐川中央工業団地への出雲村田製作所(新工場)建設による交通渋滞の予測を伺う。</p> <p>③ 交通渋滞緩和対策を伺う。</p> <p>④ 渋滞緩和のための、交通安全対策道路整備事業の予算措置を伺う。</p>		市長		
(3) 農業の収入保険制度について				
<p>① 収入保険制度の導入スケジュールを伺う。</p> <p>② 加入条件・基準収入・対象収入について伺う。</p> <p>③ 農業共済・収入減少緩和対策(ナラシ対策)との関係を伺う。</p> <p>④ 補助金の取り扱いについて伺う。</p> <p>⑤ 今後の周知計画・方法を伺う。</p>		農林水産部長		

質問者	26	勝部 順子	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 市内の企業主導型保育事業の現状について		市長	
<p>① 国は、待機児童解消に向けて、昨年4月から企業主導型保育事業を制度化しました。 企業が、従業員のための保育所を設置されることは、働いている方にとって、喜ばれることと思われます。 市内の大企業などにも、設置されることを望みます。 現時点での、現状と課題について伺います。</p>			
(2) 道路の交通安全対策について		市長	
<p>① 出雲郵便局周辺の道路の交通安全対策について ② 「県道多伎江南出雲線」のローソン付近の道路の交通安全対策</p>			

質問者	20 板倉 一郎		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 要介護認定にならない高齢者の支援について			
<p>① 昨今の家族構成で、高齢者夫婦や高齢者の一人暮らしなどの世帯が増えてきています。介護認定を受ければ基準に応じて介護保険制度で様々なサービスが受けられますが、介護認定を受けていない方は、サービスを受けることができません。しかし健やかに生活していくためには、ある程度の支援が必要であると考えます。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>ア 現在、出雲市の中での高齢者の世帯数（夫婦、一人暮らし）および、その中で、介護保険サービスを受けていない世帯数について伺います。</p> <p>イ 市が実施している介護保険による支援以外では、どのような支援があるのか伺います。</p> <p>ウ 高齢者夫婦の世帯の方から、夫の入浴に妻の介助が必要であるが、そのような入浴施設が斐川町の四季荘にしかなく、困っているとの話がある。そのような介助が必要な方が入れるような入浴施設について、どのように考えているのか伺う。あわせて、出雲ドーム健康温泉に家族風呂を設置する考えはないか伺います。</p> <p>エ 今後、高齢者向けの支援の充実に向けどのように考えているのか伺います。</p>		市長	
(2) 子どもの快適な教育環境について			
<p>① 小学校、中学校の普通教室へのエアコン整備の状況について伺います。</p> <p>ア 現在の設置状況について伺います。</p> <p>イ 今後の設置計画について伺います。</p> <p>ウ 小中学校の普通教室へのエアコンの設置を早期に望む声がある。計画を前倒しする考えはないか伺います。</p> <p>② 幼稚園、小学校、中学校のトイレの洋式化について伺います。</p> <p>ア 現在の設置状況について伺います。</p> <p>イ 今後の設置計画について伺います。</p> <p>③ 9月議会で質問した塩冶小学校の外国籍の子どもたちへの教育環境の整備は、どのようにされたのか伺います。</p>		教育長	

質問者	15 小村吉一		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲ガス(株)の自民党支部への不適切寄付について問う			
<p>① 出雲ガス(株)が自民党支部に不適切寄付を行っていた事実を知った時期、出雲ガスへの申し入れ内容、出雲ガスの返答内容を問う。</p> <p>② 出雲ガス(株)以外で、本市が出資する会社及び法人、また、補助金、負担金などを受けている会社及び法人について、違法性が疑われる寄付について調査を行ったか、その結果を問う。</p> <p>③ 再び同じような行為が行われないよう、今後の対策について問う。</p> <p>④ 自民党出雲総支部から推せんを受けて当選した市長としてこの問題をどのように認識しているのか問う。</p>		市長	
(2) 第3期出雲市教育振興計画(案)にかかわりながら問う			
<p>① 私は、先の12月議会で「本市の学校教育の向上を求めて」というテーマで質問しました。しかし、時間が足りず3月議会で再度問うことを約束しました。その後、第3期出雲市教育振興計画(案)の提案があり、その両方をミックスする形で質問します。</p> <p>ア 振興計画(案)に平日の時間外勤務が2時間以上と回答した教職員が小学校で58.7%、中学校で61.6%(平成28年3月調査)とあるが、今までどのように改善を図ってきたか、今後どう改善して行くのか問う。</p> <p>イ 振興計画(案)に「質の高い授業への改善」を図るため、授業力向上のための指導者を各学校に派遣するなどあるが、「質の高い授業」を行うのに一番重要なのは何だと考えているか。</p> <p>ウ 振興計画(案)には「遊び」という言葉の記述が見えない。子どもの人間形成にとって「遊び」は重要な要素だと考える。 子どもの遊びについて、学校教育とかかわりながらその見解を問う。</p>		教育長	

質問者	9 大 場 利 信	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			
(1) 斐川中央工業団地周辺の環境整備と将来的発展策について			
<p>① 斐川中央工業団地西工区約4.99haを出雲村田製作所が一括購入という契約をする運びになり、出雲市における今後の雇用の場の拡大や若者の定住化など、市全体に好影響をもたらすものと大いに期待しています。そこで伺います。</p> <p>ア 周辺環境の整備について</p> <p>a 企業が円滑に事業を展開していくには、道路などの周辺環境の整備が必要と考えます。特に新川中央線など村田製作所へ向かう道路は、現在においても朝夕の通勤ラッシュに見舞われており、これの緩和のためには新たな道路整備が求められておりますが、これについて伺う。</p> <p>b 併せて、県道斐川上島線の完成も周辺環境の改善に大きく寄与すると考えるが、県へ早期完成を要望する意向はあるのか伺う。</p> <p>c また、道路をはじめとする環境整備については、「村田関連事業」という別枠予算を設けて対応することも一つの案と考えるが、これに関し見解を伺う。</p> <p>イ 今回の斐川中央工業団地西工区の出雲村田製作所への売却が出雲市全体の将来的発展の契機を秘めているとも考える。更に中身を進化させるため、・人材確保および育成 ・理工系高等教育機関の誘致と連携 ・住宅の確保 ・外国人労働者支援などを検討する市の関係部課による横断的組織が必要と考えるが、これに関し見解を伺う。</p>		市長	
(2) いわゆる「準要保護世帯」への就学援助について			
<p>① 国は平成29年度から「要保護世帯」の児童生徒の入学時に支給する学用品費を倍増する予算案を上程している。これとの均衡上「準要保護世帯」の児童生徒の学用品費について以下伺います。</p> <p>ア 「要保護世帯」と「準要保護世帯」の区別と所管について伺う。</p> <p>イ H28年度の「準要保護世帯」該当人数と所要額について伺う。</p> <p>ウ H28年度の「準要保護世帯」の該当人数を基準にした場合今回の国の方針によれば出雲市の所要額はいくらになるのか。</p> <p>エ 貧困世帯の児童生徒への支援策として、「準要保護世帯」の児童生徒にも同様な支援策を講ずるべきと考えるが見解を伺う。</p>		教育部長	



質問者	32	珍 部 全 吾	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 平成28年9月30日～10月7日間の市長の米国視察について		市長	
① 視察までの経緯と目的について ② 週刊新潮・フジテレビの報道にある地元出身江角マキコさんとA氏（玉田）と市長の関係 ③ 視察までにどのような調査がなされ、判断をされたのか。 ④ H28年10月28日全協での報告書に「今後、市としては、本施設（ヒューストンのエビ養殖施設）のシステムを活用した魚類等の養殖施設、あるいは魚類研究施設の誘致の可能性について検討します。」とあるが今後の考えは			
(2) 出雲ガスの政治資金不適切寄付問題		市長	
① 出雲市が全株式20%を出資している出雲ガスが、自民党県出雲市第二支部に長年寄付していた政治資金規正法に抵触する恐れがあると報道が取り上げているが ア 市としての見解と所感について イ 長年出雲ガスの株を市が保有してきたが、今後、市と出雲ガスの関係をどのように考えているか。			

質問者	10 井原 優	答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 市政アンケート（日本共産党出雲市委員会）より問う			
<p>① 日本共産党出雲市委員会は、昨年10月から年末に、市政アンケートを数万所世帯に配布し、500通を超える回答を寄せて頂きました。この市民から頂いたアンケートをもとに質問をいたします。</p> <p>ア 市政アンケートによると、「数年前と比べて生活が苦しくなった」と回答した方が37%、やや苦しくなった人を加えると実に8割近くの方が、生活が悪くなったと回答しました。この主因は、国政にあると考えますが、本市でも、この間「行財政改革」の名のもとに、国保料や介護保険料の値上げはもちろん、公共施設の利用料の値上げや補助金の減額などを行っています。</p> <p>今こそ、市民の暮らし最優先の市政への転換を図ることが肝心だと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>イ 「出雲市政に何をのぞみますか」という問の回答ベスト4は「税や国民健康保険料などの負担軽減」23%、「介護施設やサービスの充実、負担軽減」18%、「若者の地方定着」11%、「子育て支援の充実、結婚支援」9%でした。</p> <p>国民健康保険料と子育て支援については別に質問しますので、他については今後の改善策について伺います。</p> <p>ウ 子育てについてのアンケートでは、「保育料の負担軽減」が16%「待機児の解消、保育所の定員拡大」16%「学費負担の軽減」14%「子どもの医療費の軽減」12%と続いています。これらについて、今後の改善策を伺います。</p>		市長	
(2) 国保の都道府県化と保険料について問う			
<p>① 国民健康保険は、2018年度から市町村単位から都道府県単位への広域化が進められます。政府は2018年度からの国保都道府県化にむけて、2015年度から新たに約1700億円の財政支援をし、2015年度の市町村国保特別会計への一般会計からの法定外繰り入れは3516億円、前年度3472億円より44億円増加しています（「国保新聞」16年12月20日付）。このことは、市町村が高すぎる国保料を抑えるために引き続き一般会計からの繰り入れをおこなっていることをしめしています。</p> <p>多くの自治体では、住民の負担軽減をはかるために、国の支援金も活用しつつ、保険料の引き下げの独自の努力が行われています。都道府県化においても一般会計繰り入れの努力がおこなわれなくてはなりません。そこで、伺います。</p> <p>ア 都道府県化へのスケジュールは。</p> <p>イ 都道府県化への移行で繰り入れがなくなり、保険料の大幅引き上げを危惧する声が上がっていますが、いかがか。</p>		市長	

ウ 市の一般会計からの法定外繰り入れ額と、繰り入れ理由、一人当たり繰り入れ額はいくらか。		
エ 高すぎる保険料を引き下げること、考えられないか伺う。		

質問者	4 神 門 至	答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲村田製作所周辺地域のグランドデザインについて		市長	
<p>① 平成27年7月に出雲斐川中央工業団地のA区画を分譲開始して1年半余りが経過しましたが、過日の新聞で、出雲村田製作所が立地するとの報道があり、市民にとっては大変喜ばしいニュースであったと思います。</p> <p>しかし、現在、出雲村田製作所の周辺地域には、多くの企業が集積し、交通量の増加に伴う渋滞や通学路・歩道の問題に加え、住宅・アパートの建設による雨水処理など、施工業者との問題も生じ、さまざまな住民不安が広がっている状況にあります。</p> <p>これまで、隣接地域と出雲村田製作所では、地域の環境整備や親睦・研修を図るなどを目的として、隣接地域の自治会と連絡協議会を組織して、相互の融和と協力関係に努められておりますが、今後の相互の発展のために、市としても周辺地域のグランドデザインを早期に示すことが求められていると考えます。</p> <p>そこで、以下のことについて、その対策を含めてお伺いします。</p> <p>ア 新川中央線の交通状況（渋滞を含む）について、どのように把握されているのか</p> <p>イ また、夜間の交通安全（防犯を含む）について、どのように把握されているのか</p> <p>ウ 通学路（歩道を含む）について、どのように把握されているのか</p> <p>エ アパート入居者や外国人の増加による地域自治（災害時などの危機管理体制を含む）について、どのように把握されているのか</p> <p>オ この周辺地域のグランドデザインについて、どのように考えているのか</p>			
(2) 今後の除雪体制と対策について		防災安全 担当部長	
<p>① 今年1月中頃から降り続いた積雪は、出雲市でも凍結による渋滞や雪かきなど、市民生活に支障を与え、多くの市民から除雪に対する苦情が寄せられたと聞いています。</p> <p>平成25年12月議会での質問では、執行部から「除雪業務については、地元業者に委託し、除雪車を確保し、降雪に迅速に対応できる体制としており、豪雪が予報された場合は、業者に対して、準備態勢をとるよう依頼する考えです。除雪車車両としては、タイヤショベル、除雪ドーザー、グレーダーなどがあり、各地域ごとの保有状況は、出雲地域21台、平田地域25台、佐田地域14台、多伎地域5台、湖陵地域2台、大社地域4台、斐川地域4台で合計75台です。さらに豪雪となり、除雪が困難になった場合は、市と出雲市建設業協会との間で、平成17年6月15日に締結した『風水害・地震・その他の災害応急対策業務に関する協定書』に基づき、ご協力いただくようお願いする考えです。」と答弁されておりますが、市の全体的な</p>			

<p>除雪に対する適切な体制と対策が行われてきたのか疑問視する声も少なくありません。      そこで、以下のことについてお伺いします。</p> <p>ア 今年度の除雪経費は</p> <p>イ 今年1月中頃から降り続いた積雪の被害について、どのように把握されているのか</p> <p>ウ また、本庁と支所との連携が図られ、市の除雪計画に基づいて、適切に対応されたのか</p> <p>エ これまで、積雪による交通渋滞が発生した場合に、道の駅やコンビニなど、民間等との連携が図られる体制になっているのか</p> <p>オ 今後の除雪体制と対策などについて、市の具体的な考えは</p>		
(3) 出雲市の学校給食における地産地消の現状と課題等について		
<p>① 平成25年9月に学校給食における地産地消を進める上での問題点を洗い出し、それを解決していくための方策の検討や新たな食材の発掘及び献立に必要な食材等の情報交換をすることにより地産地消の推進を図る目的で「学校給食地産地消推進ネットワーク会議」が設立され、この間、地元産食材の使用を増やすための努力がなされてきたと考えます。      しかし、特に学校給食センターに農産物を出荷する方からは、出荷量は以前と変わらないとする声も少なくありません。      そこで、以下のことについてお伺いします。</p> <p>ア 学校給食地産地消推進ネットワーク会議の現状について</p> <p style="margin-left: 20px;">a これまでの開催状況は</p> <p style="margin-left: 20px;">b また、これまでの成果と課題があれば伺います</p> <p>イ 学校給食における地元産利用割合の現状について</p> <p style="margin-left: 20px;">a 食材の地元産利用割合について、どのように把握されているのか ※ 県内の状況を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">b 特に、野菜の地元産割合について、どのように把握されているのか ※ 県内の状況を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">c 野菜の地元産仕入れ割合について、どのように把握されているのか ※ 各センター別</p> <p>ウ 学校給食における地産地消の課題と対策について</p> <p style="margin-left: 20px;">a 地産地消の課題は</p> <p style="margin-left: 20px;">b 地産地消の対策は</p>	<p>教育部長</p>	

質問者	19 萬代輝正	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 出雲市行財政改革大綱に掲げた行財政改革の成果検証			
<p>① 出雲市行財政改革大綱の個別の方針に掲げた下記の項目についての進捗は図られたのか。実数をまじえて分かりやすくお示しいただきたい。</p> <p>ア 効率的・効果的な行財政運営 イ 公共施設のあり方と管理運営 ウ 組織・機構と適正な人員管理 エ 財源の確保と債務の抑制</p> <p>② 行財政改革推進に向けた集中改革期間（H26～H28）の成果について、長岡市長就任の8年前と比べて数値を用いて分かりやすくお示しいただきたい。</p> <p>③ 公共施設の維持管理経費について、利用料金改定後の結果をお示しいただきたい。特に身近な、文化関連施設の括りとスポーツ関連施設の括りでの説明を。</p>		市長	

質問者	21 多々納剛人		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 選挙の投票率低下の背景について所感を伺う			
<p>① 近年の投票率の低さが問題となって久しいですが、投票率低迷の理由は、どこにあるのでしょうか、有権者の政治への無関心が原因であるといわれているようですが、本当なのでしょうか。</p> <p>特に、投票率を年代別にみると、20歳から60歳まで10歳刻みでみた統計では60歳までは段階的に上昇し、その後は低下する傾向がみられます。投票率だけから見ると若年層と高齢者層に政治離れが現れていますが、しかし若者や高齢者が政治に関心がないかと言えば、必ずしもそうではないようです。それではなぜ投票率は低下する一方なのでしょうか。</p> <p>選挙とは、有権者の意見を社会や政策に反映させるための制度であるわけですが、世論調査では「政策へ民意が反映されている」との回答は全体の約3割であり、若者調査でも「自分は政府のすることに対して左右する力はない」との回答が有権者の6割以上であったようです。また、意識調査では、5割以上が生活に満足しているのに対し、政治への満足度は2割弱しかない。このことは、生活と政治が離れ、有権者が政治に参加していないことを示しています。この結果は出雲市でも例外とは言えないとかがえます。</p> <p>行政・議会の役割が国の制度改革から大きく変化するなかで、国から地方へ、官から民へとその役割や権限が移行されるなかにおいて、政治は住民の皆さんと相互理解をはかり課題を共有して解決を図って行かなければならないにもかかわらず、「投票離れ」を生む原因が住民の社会参画意識の低下になってはならず、対策が必要だとかがえます。</p> <p>ア 市長は投票率低下の理由をどう受け止めておられるか伺う。</p> <p>イ 住民の社会参画意識や投票率の向上に必要な対策を伺う。</p>		市長	